

東京 大型商業施設 MPC

No.1



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
設置年数不明	
<p>利用客が半端なく多い東京の主要駅・駅ビル大型商業施設のES。光の関係でデマケーションラインがオレンジ色に見えるが実際は鮮明な黄色である。利用頻度が非常に多く稼働時間も長い最も汚れやすい環境である。</p>	



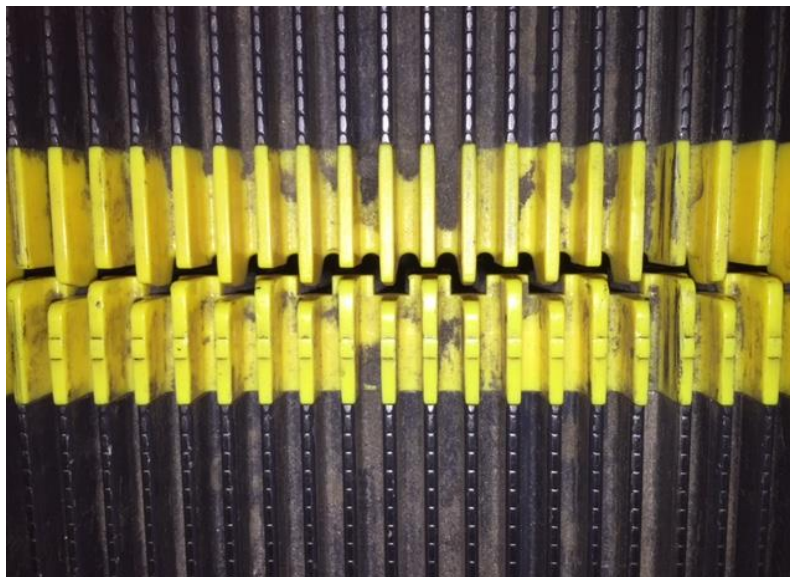
設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
5段階評価 汚れランク D	
<p>駆動部のグリースが浮き上がり埃と結合し、酸化したスラッジとなってこびり付いている。黄色のデマケーションラインは巻き込み防止の注意を促すが目的だが、かなり黒く汚れており利用者にとってやや危険な状態となっている。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅 1000タイプ	
清掃前	
<p>外から入ってすぐのエスカレーターでしかも利用客が多く土砂も持ち込まれるため非常に汚れやすい環境である。油分が少ない中央部分も蓄積された汚れがかなり蓄積してこびり付いており、モップや箒などでは簡単に落ちない。ステップ上には駆動部の油分が薄く浮き上がり雨の日などは転倒事故の危険がある。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃前	
<p>ごびり付いた油汚れのスラッジは酸化傾向にありエスカレーターを痛める原因となっている。放っておくとどんどん蓄積していく。ライザーにも汚れがついているのがよくわかる。ESメーカーいわくライザーはステップの汚れを拾って汚れていくとのこと。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃前	
<p>目には見えにくいですが油分がステップ上を薄く覆っているため滑りやすくなっており、安全性上でも問題がある。中央の溝底にはやや乾いたスラッジ汚れがごびり付いているのがわかる。デマケーションラインの汚れの蓄積は今はまだ比較的少ない。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃前	
<p>汚れが比較的少ないはずの中央部分にも溝の底に長年の埃がごびり付いている。この溝の底の汚れは簡単には落ちない汚れである。清掃後、溝底の地金がどこまできれいになるか楽しみである。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃作業中	
<p>最初の埃とりのドライ清掃。真っ白なデバイスの上に真っ黒な埃が舞い上がって付いている。指でなぞった白い部分と比較すると良くわかる。洗浄液を使用するセミドライ清掃前に埃を取ることでよりきれいに仕上がる。</p>	



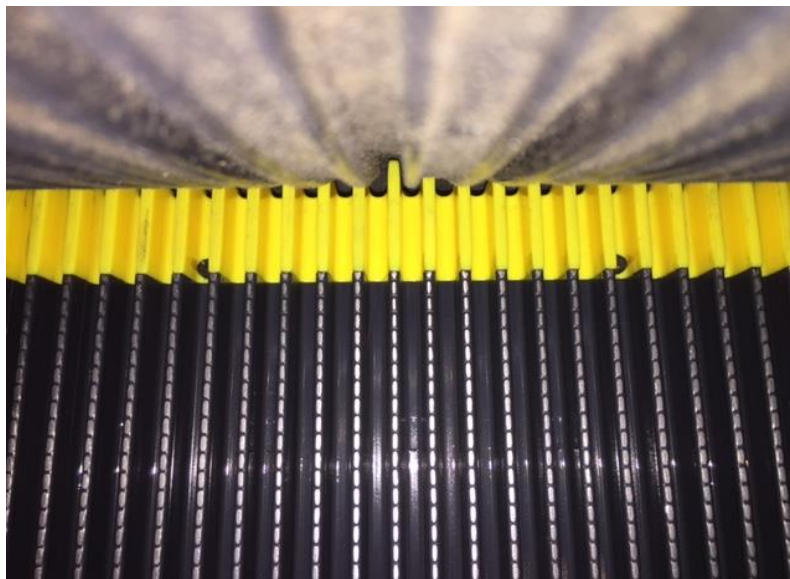
設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
クリーニングパッド6本使用	
<p>かなり汚れている状態だったが初回の清掃でパッド6本を使用する。上から2本は埃取りのドライ清掃→3、4本目は通常のセミドライ清掃→5、6本目は仕上げのドライ清掃で施工する。パッドは水洗いでそれぞれ約10回の再利用が可能である。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>溝の底に溜まっていた長年の埃とスラッジがきれいに取り除かれ、地金も綺麗に見えている。デマケーションラインも歴然ときれいになり、本来の巻き込み防止の役目をしっかりと果たしている。取り切れない汚れが若干残っているが清掃前とは比べ物にならない。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>清掃前とは歴然と違う美しさである。溝の底の地金がきれいに見えるようになった。部分的にわずかに取り切れない汚れがあるが、今後、パッド1本使用5分清掃の定期清掃を行うことでよりきれいになり、そのきれいな状態を継続して保つことができる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>ステップ面の油分が除去されるときわめて滑りにくい状態となり、転倒事故などの安全性が格段にアップする。また、美観アップのみでなく、エスカレーターの耐久性と安全性が格段にアップする。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>エスカレーターが美しいと施設がリニューアルされた印象となる。汚れたエスカが多い中、美しいエスカは施設のブランド力のアップに大きく貢献する。わずかに残った汚れは、次回以降の定期的な清掃で確実にきれいになり、そのきれいさを維持できる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>デマケーションラインのネジ山もはっきりとわかるようになる。経年経過で蓄積された埃やスラッジを見事に除去した状態。最初の汚れた状態と比較すると美しさの違いが歴然と際立っている。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>ステップがきれいになると縦のライザー部分の汚れが目立つ。しかし、ステップがきれいだとライザー部分も汚れにくくなる。よってライザーは一度きれいにすることで清掃頻度が減る。ステップ清掃のみでライザーもきれいになってきたという報告もある。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	Cバンク B1~1F
エスカレーターの幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>安全性の確保のため、油分やスラッジ汚れを取る大きな目的であるが、エスカレーターが輝いて見えるのがREN清掃の特徴でもある。パッド1本のみを使用する5分間の定期清掃を継続することで更に美しくなり、その美しさを何年経っても継続できる。</p>	